

もう一つの見方・考え方

梅林中 一年 MI

私たちは物の見方を無意識のうちに一つに決めてしまっている。だが、見方を変えてみれば、全く別の物が見えてくる。

左の絵を見てみよう。頬笑みながら見つめ合う、男と女がいる。とても仲が良さそうだ。だが、よくケンカもするらしい。その秘密は、この絵の中に隠されている。



この絵を百八十度回転させてみると、ほら二人ともこわい顔をしてケンカをしている。このように角度を変えてみると、まったく別の物に見えるてくることがある。

普段よく怒るお母さんがいるとしよう。そのとき、「こわいお母さん」などとする人があるだろう。では、角度を

変えてみよう。そのお母さんは、子供が悪いことを繰り返さないために怒っているのだった。つまり、子供を思う、優しい母親なのだ。

左の絵は、海賊が足を組んで、宝のような物を眺めている。幸せそうだ。だが、彼の運命は、幸せなんかではな



遠くから見れば分かる。ほら、大きなガイコツが見えてくる。日常生活でも、遠くから見て、「きれいな黒板」と思っている、近くで見ると、薄く文字が残っていることがある。遠くから見るときと近くから見るときとで、見え方が変わってくる

があるのだ。角度や距離を変えて見ることで、「〇〇だ。」と見ている物も、「〇〇とも言えるな。」と、新しい発見ができる。そして、いろいろな考え方ができるだろう。